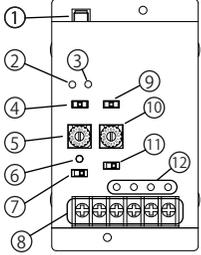


使用前に必ずお読みください。お読みになった後も大切に保管してください。

受信機各部名称

- ① **アンテナコネクタ**
・アンテナ取付け用コネクタです。
- ② **登録LED**
・登録作業時の状態を表示します。
- ③ **削除LED**
・削除作業時の状態を表示します。
- ④ **登録削除スイッチ**
・送信機IDコードの登録と削除をします。
・操作方法は「IDコードの登録と削除」を参照してください。
- ⑤ **グループ設定スイッチ**
・使用するグループの選択をします。
・詳細は下記「IDコードの登録と削除」を参照してください。



- ⑥ **電源LED**
・電源が「入」の時に点灯します。
- ⑦ **電源スイッチ**
・電源の入/切を切り替えます。
- ⑧ **端子台**
・詳細は「配線図」を参照してください。
- ⑨ **MODE1スイッチ**
・出力切換の設定をします。
・詳細は「出力切換」を参照してください。
- ⑩ **範囲設定スイッチ**
・動作範囲の設定をします。
・詳細は「動作範囲設定」を参照してください。
- ⑪ **MODE2スイッチ**
・受信モードの切換をします。
・詳細は「受信モード切換」を参照してください。
- ⑫ **出力表示LED**
・各出力に対応したLEDが点灯します。

使用上の注意

特小電波を使用していますが、他の無線機器の影響や多重反射により局部的に通信しにくいエリアが発生することがあります。通信性能を確認の上で使用してください。

IDコードの登録と削除

※送信機のIDコードを受信機に登録しないと受信機は動作しません。

1 IDコードの登録状態の確認

- ① 受信機の登録削除スイッチを「動作」に設定します。
- ② 受信機のID GROUP スイッチを確認したいグループに設定します。
①と②の順番は逆でもかまいません。
- ③ 登録LEDが消灯していればIDは未登録ですが点滅している場合は既に他の送信機のIDが一つ登録されており、点灯している場合は二つ以上のIDが登録されています。

2 IDコードの登録方法

- ① ID GROUP スイッチによりIDを登録するグループを選びます。
- ② 電源投入時より1秒以上経過後に受信機の登録削除スイッチを「登録」に設定するとID登録LEDが点灯します(グループ「0」には登録できません)。空きエリアが無い場合は登録モードにしても登録LEDが点灯しません。
- ③ 送信機の操作スイッチ(どれでも可能)を押し、3秒以上送信します。
- ④ 受信機のID登録LEDが消灯し、登録が完了します。
※同じ送信機は二重に登録出来ません。このため、既に登録済みの送信機で登録作業を行った場合は、登録LEDが消灯しません。
- ⑤ 続けてID登録をする場合は、登録削除スイッチを「動作」に設定して①の手順から繰り返します。

3 IDコードの削除方法

※受信機に登録済みのIDコードはグループ毎に削除できます。(IDコードの個別削除はできません。)

- ① 受信機の登録削除スイッチを「動作」に設定します。
- ② 受信機のID GROUP スイッチで削除したいグループに設定します。
- ③ 受信機の登録削除スイッチを「削除」に設定すると削除LEDが点灯します(指定したグループにIDが登録されていない場合は削除LEDは点灯しません)。
- ④ ID GROUP スイッチを「0」に設定します。
- ⑤ 削除LEDが消灯し、削除が完了します。
- ⑥ 続けてIDを削除する場合は、①の手順から繰り返します。

出力切換

※受信機の出力はMODE1スイッチの設定によりワンショットとリアル出力、ラッチ出力の3点切換ができます。

1 ワンショット出力

- ・出力切換スイッチを「A」に設定するとワンショット出力を行います。
- ・送信機からの信号を受信した直後に受信機から約0.5秒出力します。

2 リアル出力

- ・出力切換スイッチを「B」に設定するとリアル出力を行います。
- ・送信機の操作ボタンを押してから最大0.1秒後に受信機から出力されます。
- ・操作ボタンを押し続けている間出力され続け、ボタンを離してから最大0.2秒後に出力が停止されます。

- 電波状態が悪い場合はIDの再認識を行うため、出力開始までの時間が遅れる場合があります。
- 出力中に、受信圏外に出た場合など、受信ができなくなってから最大0.2秒で出力が停止します。
- 送信機のボタンは同時に2つ以上押さないでください。

3 ラッチ出力

- ・出力切換スイッチを「C」に設定すると出力を保持します。
- ・送信機の操作ボタン押すと受信機から出力します(送信機の操作ボタンを離しても出力は保持)。
- ・同じ操作ボタンを再度押すと出力が停止します。
- ・別の操作ボタンを押すと出力は停止し、新たに押しした操作ボタンが出力されます。
- ・受信機の電源を「切」にする事でも出力を停止する事ができます。

受信モード切換

※受信機の受信状態を切換える事が出来ます。

1 受信モード「A」

- ・受信モード切換スイッチを「A」に設定すると、**受信圏内で送信開始した場合のみ**、受信機から出力されます(受信できる状態で送信機のボタンを押した場合のみ動作)。
- ・受信圏外から送信したまま受信圏内に入っても受信機は出力しません。誤動作する事がなく安全です。

2 受信モード「B」

- ・受信モード切換スイッチを「B」に設定すると、受信圏外から送信機のスイッチを押しながら受信圏内に入った場合でも、受信機から出力されます(受信できる状態で送信機のボタンが押されていれば動作)。
- ・受信状態が不安定な場合などで、ボタンを押しながら近づくと動作させる事が出来ます。送信機のボタンを押しながら受信圏内に入ってから最大0.1秒で出力が開始されます。

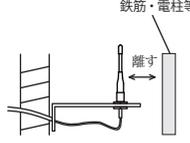
動作範囲設定

- ・動作範囲設定はロータリースイッチを回すことで設定出来ます。
- ・▽の位置に「F」を設定した時に動作範囲が最大になります。左回りに回すと動作範囲が狭まり、「0」を設定した時に動作範囲が最小になります。
- ・動作範囲を伸ばしたい場合はオプションの高感度アンテナが延長ケーブルセットをご購入ください。

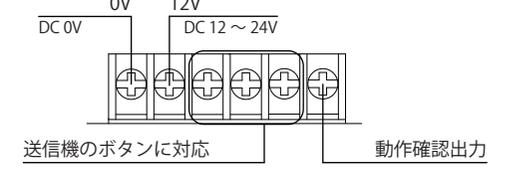


延長ケーブルセット(オプション)の取付方法

- ① アンテナは操作される位置より見通しが良く地面より1.5m以上の高い位置に取付けてください。
- ② アンテナはアンテナ金具を確実に組み込みネジで固定してください。
- ③ アンテナケーブルを壁を貫通して屋外に引き出す場合ケーブル保護の為パイプを使用してください。

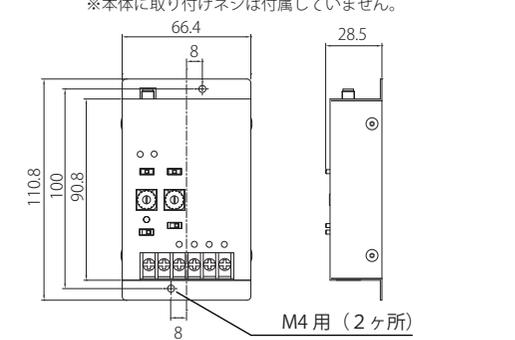


配線図



- 圧着端子はM3用のものをご使用になってください。
- 出力の配線
 - ・本製品の動作確認出力は、NPN オープンコレクタです。
 - ・電源の0V(GND)端子が共通(COM)端子になります。

取り付け寸法



主な仕様

・使用周波数	314.0MHz 帯
・変調方式	FM
・出力仕様	オープンコレクタ出力
・定格通電電流	DC30V 30mA
・電源電圧	DC12 ~ 24V
・消費電力	100mA 以下(DC12V時)
・動作温度範囲	-10 ~ +60℃
・動作湿度範囲	30 ~ 80%(結露・氷結しないこと)
・外形寸法	66.4(W)×110.8(H)×28.5(D)mm
・登録可能台数	200台 ※登録台数が200台を超えると受信機が登録モードに切り替わりません。

故障かな?と思ったら

- **動作しにくくなった。動作しなくなった。**
配線が間違っている可能性があります。正しく配線されているか確認してください。
送信機に問題がある可能性があります。別の受信機で正常に動作するか確認してください。
電源は入っていますか? 送受信機の電源が入っているか確認してください。
通信が不安定になっている可能性があります。近距離で正常に作動するか確認してください。
- **動作距離が極端に短い。**
通信が不安定になっている可能性があります。

以下の状態では電波到達距離は短くなります。

- ・周囲にノイズ源がある
- ・アンテナケーブルが断線またはかみ込み状態になっている
- ・アンテナとケーブルの締め付けが緩い
- ・アンテナ設置場所に問題がある

※ノイズ源や金属物から離して設置してください。

警告
死亡または重症を負うおそれがある内容

- 本取扱説明書に記載のない条件や環境での使用、及び原子力制御・鉄道・航空設備・車両・燃料装置・医療機器・娯楽機械・安全装置、その他、人命や財産に大きな影響が予測されるなど特に安全性が要求される用途へは使用しないでください。
- 周囲環境により、通信が一時的に途絶えることが有りますので、リアルタイム制御及び人命やその他の機器・装置に損害を与える用途には使用しないでください。
- 落下させる、物をつづける、傷つけるなど是不しないでください。故障の原因となります。
- 分解、改造はしないでください。怪我等の事故や故障の原因となります。
- 製品を濡らさないでください。発熱や故障の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、異音がする、発熱するなどの異常が発生した場合すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。
- 配線は電源を切った状態で行ってください。事故の原因となります。
- 配線は正しく行ってください。誤動作や事故の原因となります。

●次の場所への設置はおやめください。故障や事故の原因となるおそれがあります。

- ・ほこりの多いところや直接水のかかるところ
- ・高温多湿のため結露しやすいところ
- ・腐食性ガスや可燃性ガスが発生するところ

- アンテナは専用のアンテナをご利用ください。
- 受信機からのアンテナケーブルは無理に引っ張らないようにしてください。
- アンテナケーブルは途中で切断したり余分なケーブルを束ねたりしないでください。
- アンテナケーブルは電源線・高圧線・インバーター・DCモーターなどのノイズ源からできる限り離してください。
- アンテナは金属物等(鉄筋・電柱等)からできる限り離してください。障害物がある場合動作距離短くなることがあります。
- 受信機を制御盤などの金属箱内に設置してください。動作距離を伸ばしたい場合は、延長ケーブルを使用し、アンテナを金属箱の外に設置してください。
- 電源電圧は許容範囲内で使用してください。
- 本機を廃棄する時は、産業廃棄物として処理してください。